

外国籍県民意識調査結果

長野県国際課

1 調査の目的

県内に居住する外国籍県民の実態を把握し、今後の施策の参考にするため。

2 調査の実施

(1) 調査期間

平成 30 年 5 月～平成 31 年 4 月 (継続調査中)

(2) 調査対象者

県内に在住する外国籍県民

*対象言語・・・日本語、中国語、ポルトガル語、タガログ語、タイ語、英語、韓国語
(7言語)

(3) 調査方法

多文化共生くらしのサポーター、日本語教室等の協力を得て、外国籍県民へ聞き取り等により実施。

(4) 回収状況

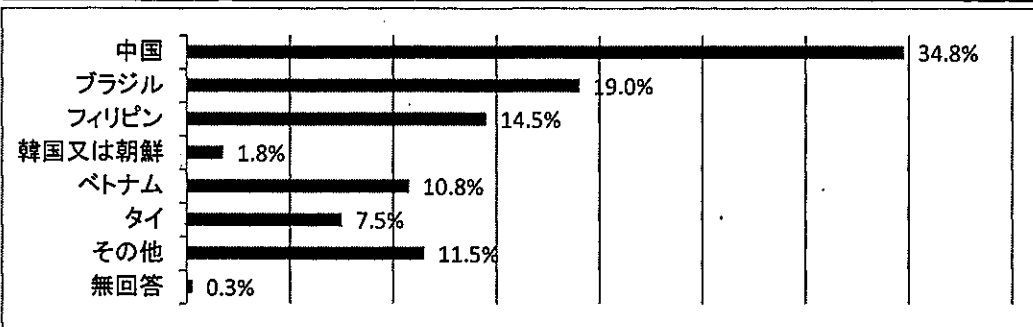
回収数 400 人

3 調査結果

別添参照

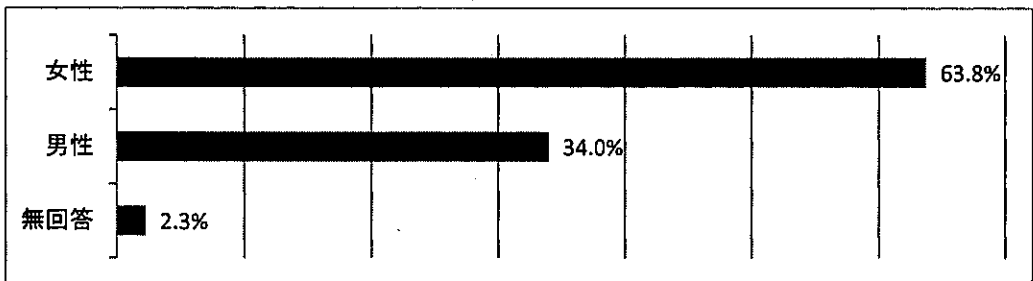
【属性】

Q1 国籍を教えてください
 ①中国 ②ブラジル ③フィリピン
 ④韓国又は朝鮮 ⑤ベトナム ⑥タイ
 ⑦その他



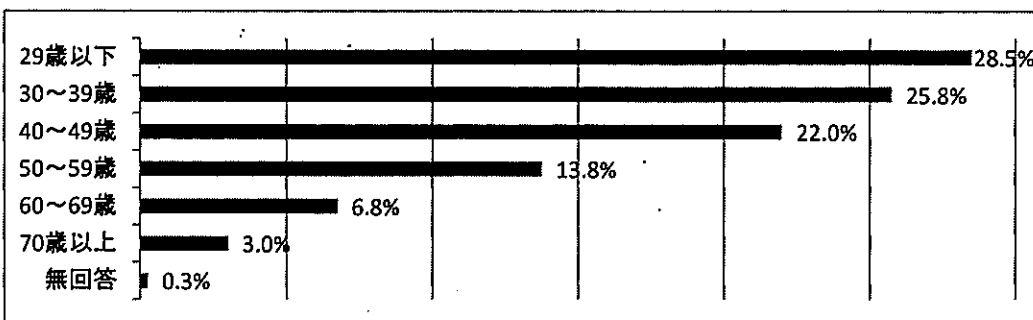
回答者の国籍は、「中国」という回答が34.8%と最も多く、次いで「ブラジル」という回答が19.0%となっている。

Q2 性別を教えてください
 ①女性
 ②男性



回答者の性別は、「女性」という回答が63.8%、「男性」という回答が34.0%となっている。

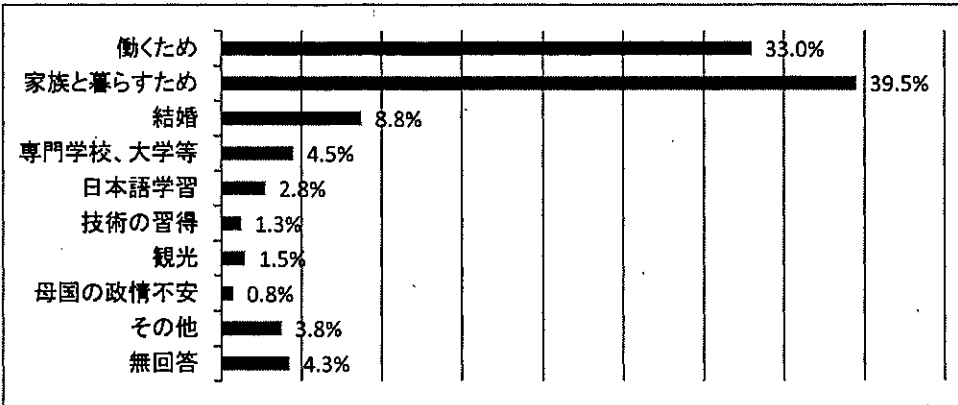
Q3 年齢を教えてください(1つに〇)
 ①29歳以下 ②30~39歳 ③40~49歳
 ④50~59歳 ⑤60~69歳 ⑥70歳以上



回答者の年齢は、「29歳以下」という回答が28.5%と最も多く、次いで「30~39歳」という回答が25.8%、「40~49歳」という回答が22.0%の順となっている。

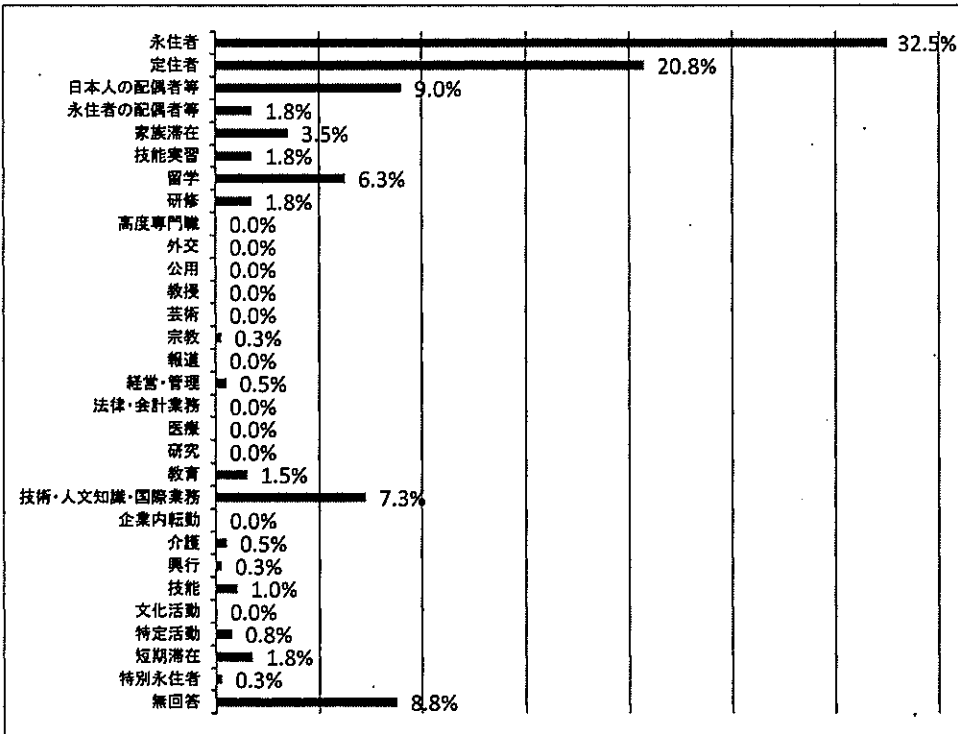
【在留資格】

Q4 日本に来た目的は何ですか。(1つに○)
 ①働くため ②家族と暮らすため ③結婚
 ④専門学校、大学等 ⑤日本語学習 ⑥技術の習得
 ⑦観光 ⑧母国の政情不安 ⑨その他



日本に来た目的は、「家族と暮らすため」という回答が39.5%で最も多く、次いで「働くため」という回答が33.0%となっている。

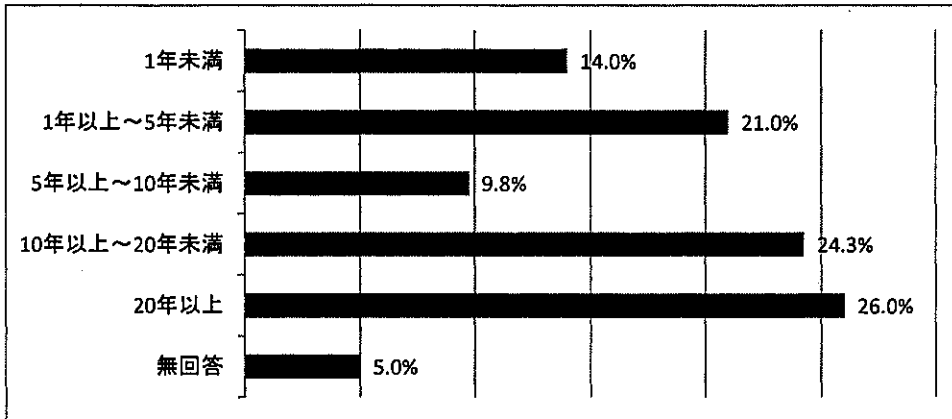
Q5 現在の在留資格は何ですか。(1つに○)
 ①永住者 ②定住者 ③日本人の配偶者等
 ④永住者の配偶者等 ⑤家族滞在 ⑥技能実習
 ⑦留学 ⑧研修 ⑨高度専門職
 ⑩外交 ⑪公用 ⑫教授
 ⑬芸術 ⑭宗教 ⑮報道
 ⑯経営・管理 ⑰法律・会計業務 ⑱医療
 ⑲研究 ⑳教育 ㉑技術・人文知識・国際業務
 ㉒企業内転勤 ㉓介護 ㉔興行
 ㉕技能 ㉖文化活動 ㉗特定活動
 ㉘短期滞在 ㉙特別永住者



在留資格は、「永住者」という回答が32.5%と最も多く、次いで「定住者」という回答が20.8%、「日本人の配偶者等」という回答が9.0%の順となっている。

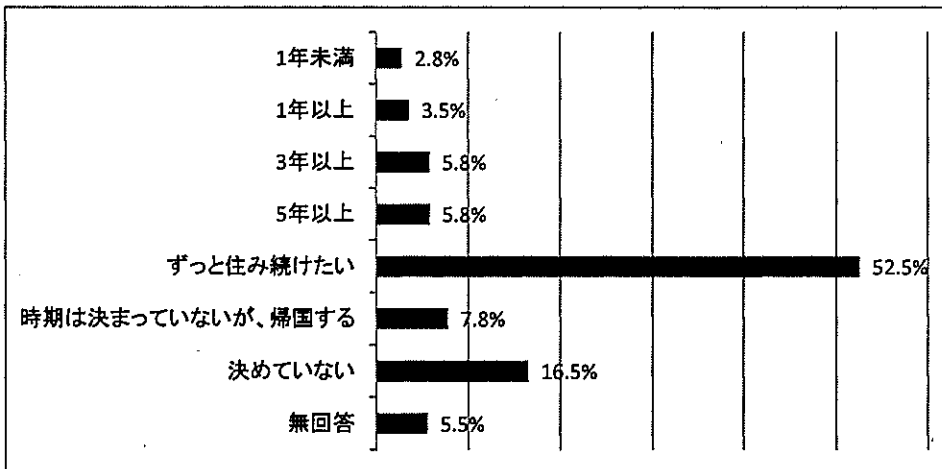
【滞在】

- Q6 何年間、日本に住んで（滞在して）いますか。（1つに○）
- ① 1年未満
 - ② 1年以上～5年未満
 - ③ 5年以上～10年未満
 - ④ 10年以上～20年未満
 - ⑤ 20年以上



日本に住んでいる期間は、「20年以上」という回答が26.0%と最も多く、次いで「10年以上～20年未満」という回答が24.3%、「1年以上～5年未満」という回答が21.0%の順となっている。

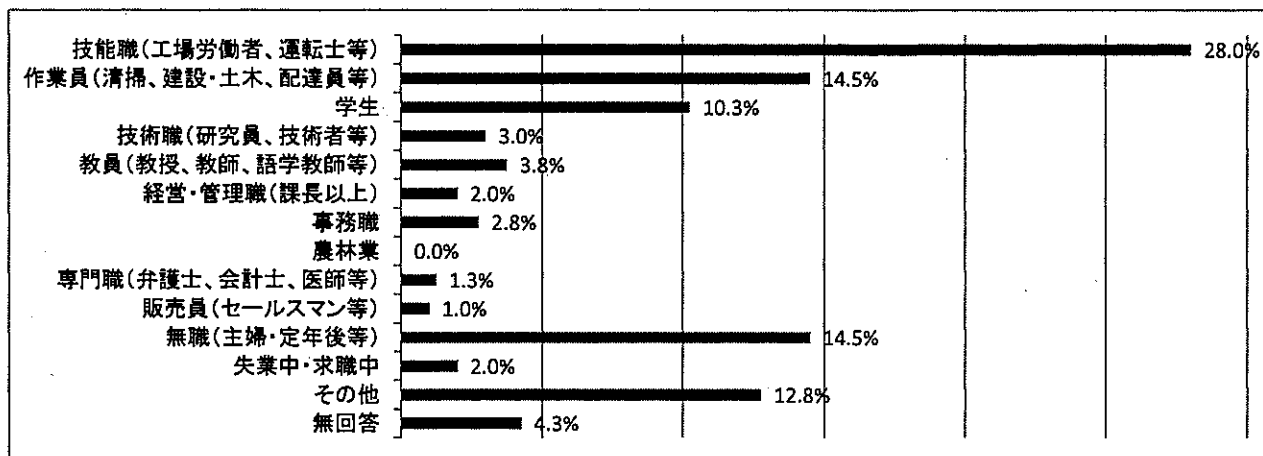
- Q7 今後、日本にどれくらい住む予定ですか。（1つに○）
- ① 1年未満
 - ② 1年以上
 - ③ 3年以上
 - ④ 5年以上
 - ⑤ ずっと住み続けたい
 - ⑥ 時期は決まっていないが、帰国する
 - ⑦ 決めていない



今後、日本に住む予定は、「ずっと住み続けたい」という回答が52.5%と最も多く、次いで「決めていない」という回答が16.5%の順となっている。

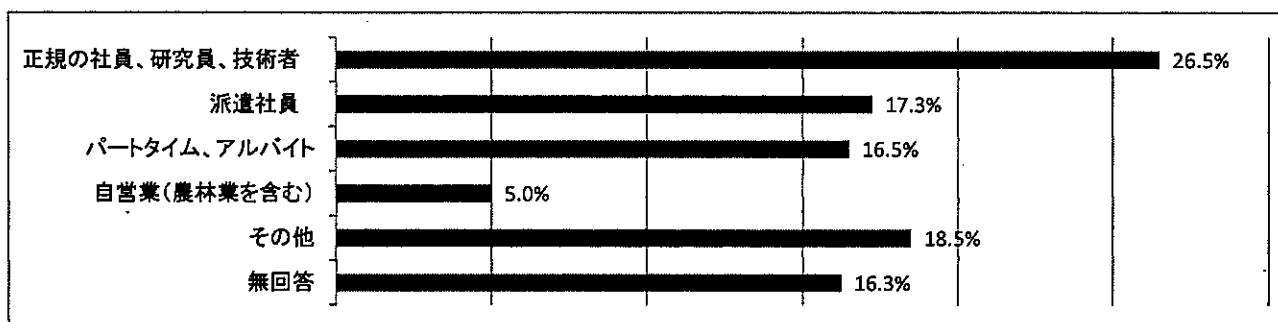
【仕事】

Q8 現在の仕事の種類は何ですか。(1つに○)
 ①技能職(工場労働者、運転士等) ②作業員(清掃、建設・土木、配達員等) ③学生
 ④技術職(研究員、技術者等) ⑤教員(教授、教師、語学教師等)
 ⑥経営・管理職(課長以上) ⑦事務職 ⑧農林業
 ⑨専門職(弁護士、会計士、医師) ⑩販売員(セールスマン等)
 ⑪無職(主婦・定年後等) ⑫失業中・求職中 ⑬その他



現在の仕事は、「技能職(工場労働者、運転士等)」という回答が28.0%で最も多く、次いで「作業員(清掃、建設・土木、配達等)」、「無職(主婦・定年後等)」という回答が14.5%の順となっている。

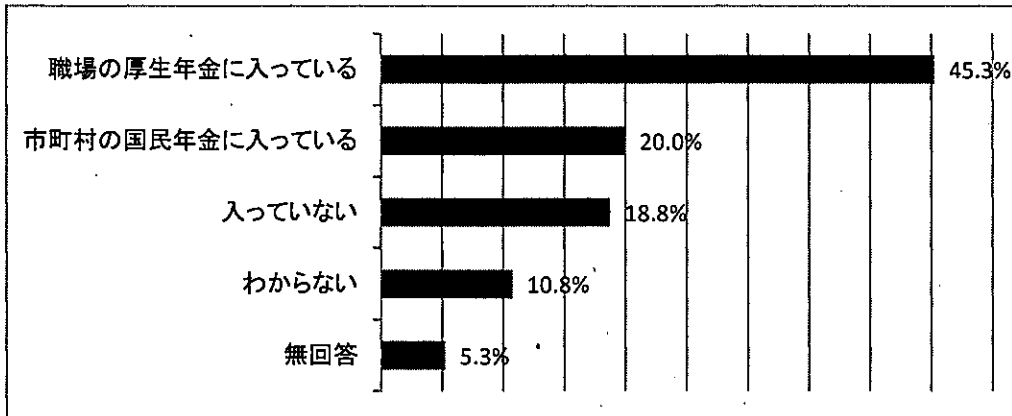
Q9 どのような勤務形態ですか。(1つに○)
 ①正規の社員、研究員、技術者 ②派遣社員 ③パートタイム、アルバイト
 ④自営業(農林業を含む) ⑤その他



採用形態は、「正規の社員、研究員、技術者」という回答が26.5%と最も多く、次いで「その他」という回答が18.5%、「派遣社員」という回答が17.3%の順となっている。

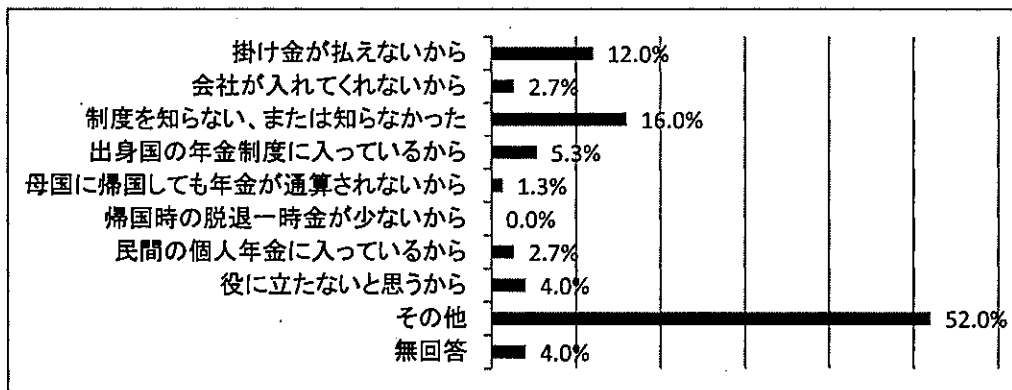
【年金】

Q10 あなたは日本の厚生年金または国民年金に入っていますか。(1つに○)
 ①職場の厚生年金に入っている
 ②市町村の国民年金に入っている
 ③入っていない
 ④わからない



「職場の厚生年金に入っている」という回答が45.3%、「市町村の国民年金に入っている」という回答が20.0%の順となっている。

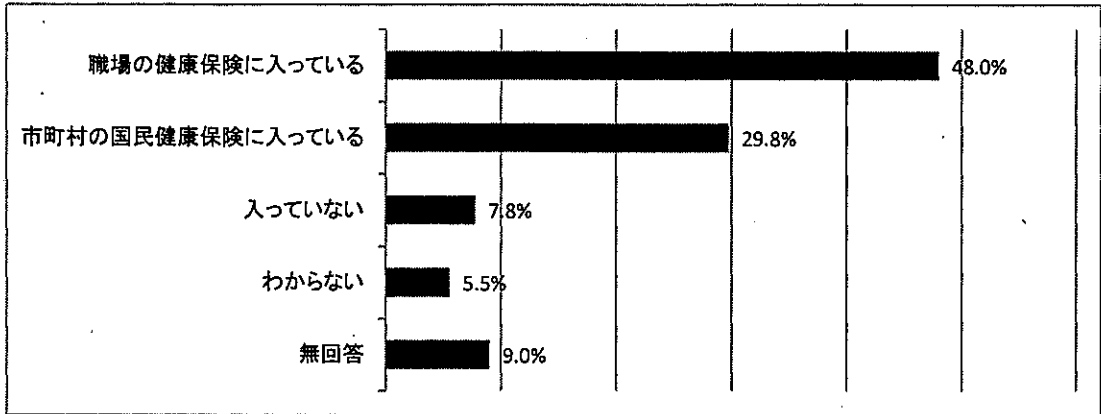
Q11 「Q10で『入っていない』」と答えた方にお聞きします。
 その1番の理由は何ですか。(1つに○)
 ①掛け金が払えないから
 ②会社が入れてくれないから
 ③制度を知らない、または知らなかった
 ④出身国の年金制度に入っているから
 ⑤母国に帰国しても年金が通算されないから
 ⑥帰国時の脱退一時金が少ないから
 ⑦民間の個人年金に入っているから
 ⑧役に立たないと思うから
 ⑨その他



年金に入っていない理由は、「その他」という回答が52.0%と半数を占め、次いで「制度を知らない、または知らなかった」という回答が16.0%、「掛け金が払えないから」が12.0%の順となっている。

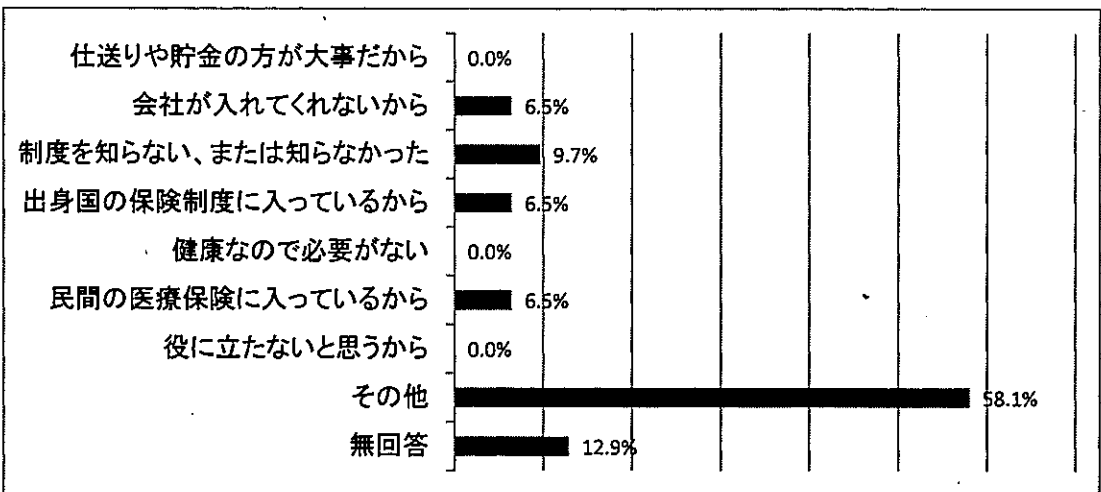
【 保 険 】

Q12 あなたは職場の健康保険または国民健康保険に入っていますか。(1つに○)
 ①職場の健康保険に入っている
 ②市町村の国民健康保険に入っている
 ③入っていない
 ④わからない



「職場の健康保険に入っている」という回答が48.0%、次に「市町村の国民」健康保険に入っている」という回答が29.8%の順となっている。

Q13 「Q12で『入っていない』」と答えられた方にお聞きします。
 その1番の理由は何ですか。(1つに○)
 ①仕送りや貯金の方が大事だから
 ②会社が入れてくれないから
 ③制度を知らない、または知らなかった
 ④出身国の保険制度に入っているから
 ⑤健康なので必要がない
 ⑥民間の医療保険に入っているから
 ⑦役に立たないと思うから
 ⑧その他

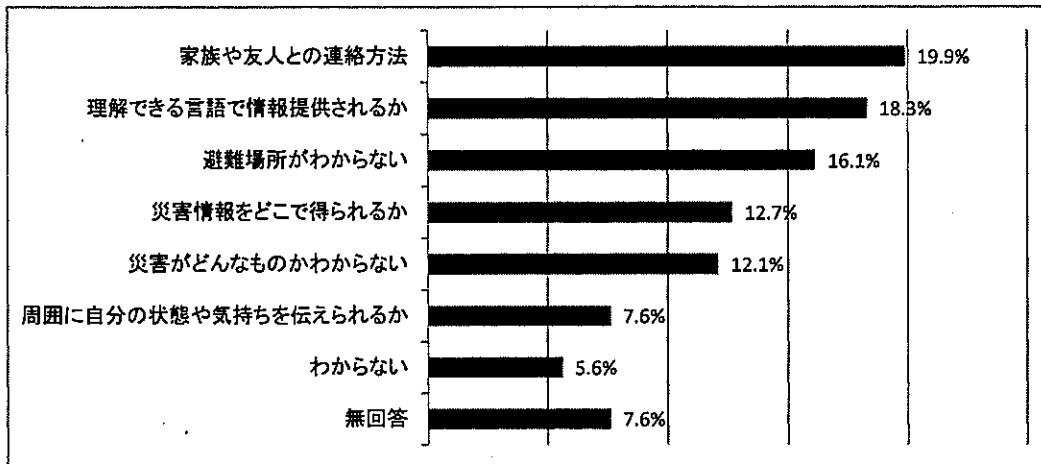


健康保険に入っていない理由は、「その他」という回答が58.1%で最も多く、次いで「無回答」が12.9%、「制度を知らない、または知らなかった」9.7%という回答となっている。

【災害】

Q14 災害（地震、洪水等）についてどのようなことが不安ですか。（3つまで〇）

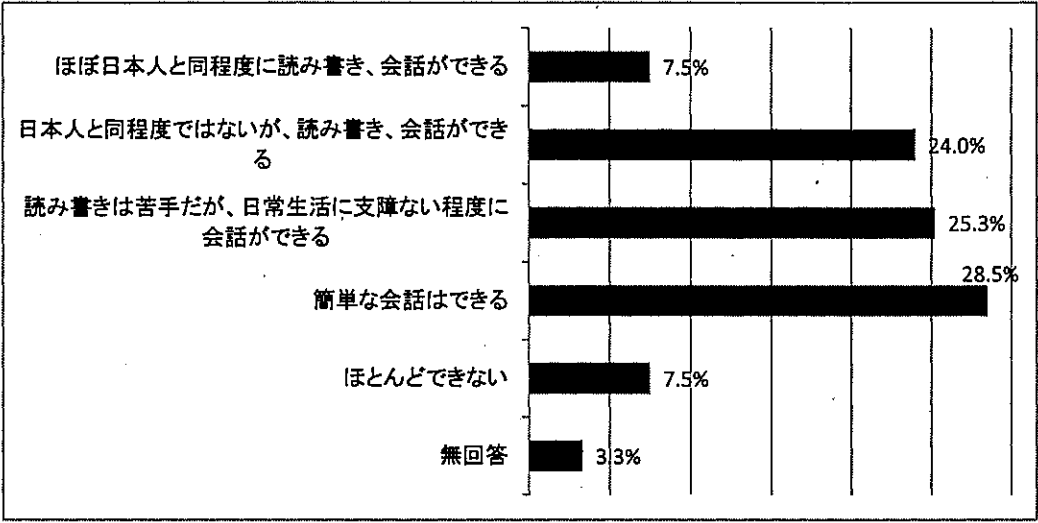
- ①家族や友人との連絡方法
- ②理解できる言語で情報提供されるか
- ③避難場所がわからない
- ④災害情報をどこで得られるか
- ⑤災害がどんなものかわからない
- ⑥周囲に自分の状態や気持ちを伝えられるか
- ⑦わからない



災害について不安なことは、「家族や友人との連絡方法」という回答が19.9%と最も多く、次いで「理解できる言語で情報提供されるか」という回答が18.3%、「避難場所がわからない」という回答が16.1%の順となっている。

【日本語】

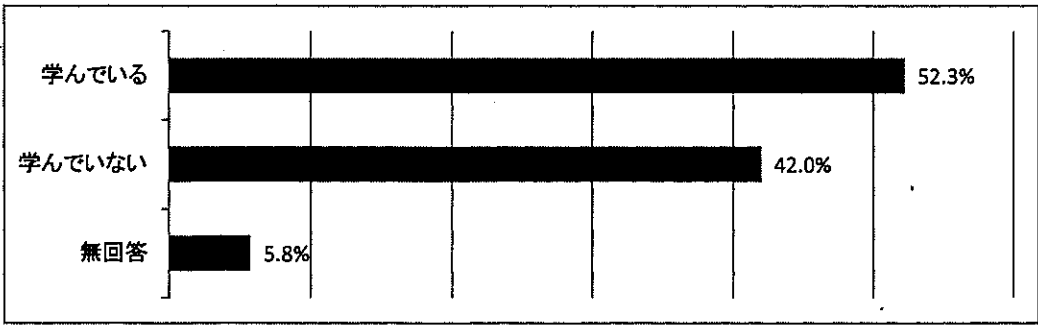
Q15 日本語をどのくらいできますか。(1つに○)
 ①ほぼ日本人と同程度に読み書き、会話ができる
 ②日本人と同程度ではないが、読み書き、会話ができる
 ③読み書きは苦手だが、日常生活に支障ない程度に会話ができる
 ④簡単な会話はできる
 ⑤ほとんどできない



日本語能力は、「簡単な会話はできる」という回答が28.5%と最も多く、次いで「読み書きは苦手だが、日常生活に支障ない程度に会話ができる」という回答が25.3%、「日本人と同程度ではないが、読み書き、会話ができる」という回答が24.0%の順となっている。

「読み書きができない」という回答（上記グラフ「読み書きは苦手だが、日常生活に支障ない程度に会話ができる」、「簡単な会話はできる」、「ほとんどできない」）の割合が全体の約6割である。

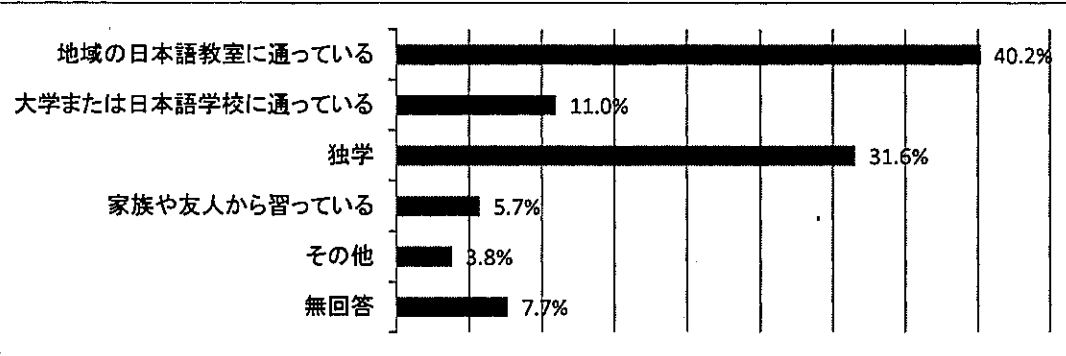
Q16 現在、日本語を学んでいますか。(1つに○)
 ①学んでいる ②学んでいない



日本語の学習は、「学んでいる」という回答が52.3%、「学んでいない」という回答が42.0%となっている。

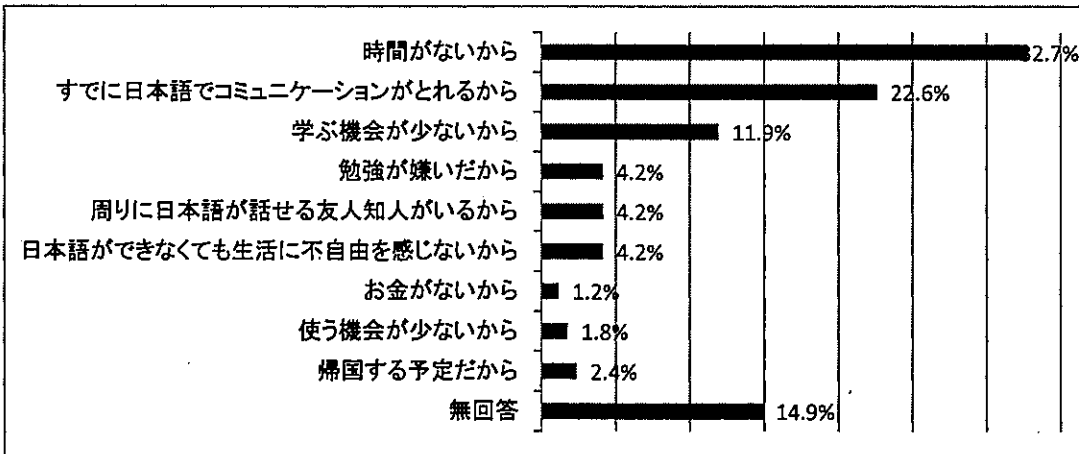
【日本語学習】

Q17 「Q16で『(1)学んでいる』」と答えた方にお聞きします。
 どうやって学んでいますか。
 ①地域の日本語教室に通っている
 ②大学または日本語学校に通っている
 ③独学
 ④家族や友人から習っている
 ⑤その他



日本語をどのように学んでいるかは、「地域の日本語教室に通っている」という回答が40.2%で最も多く、次いで「独学」という回答が31.6%と多い。

Q18 「Q16で『②学んでいない』」と答えた方にお聞きします。
 学んでいない理由は何ですか。
 ①時間がないから ②すでに日本語でコミュニケーションがとれるから
 ③学ぶ機会が少ないから ④勉強が嫌いだから
 ⑤周りに日本語が話せる友人知人がいるから
 ⑥日本語ができなくても生活に不自由を感じないから
 ⑦お金がないから ⑧使う機会が少ないから
 ⑨帰国する予定だから

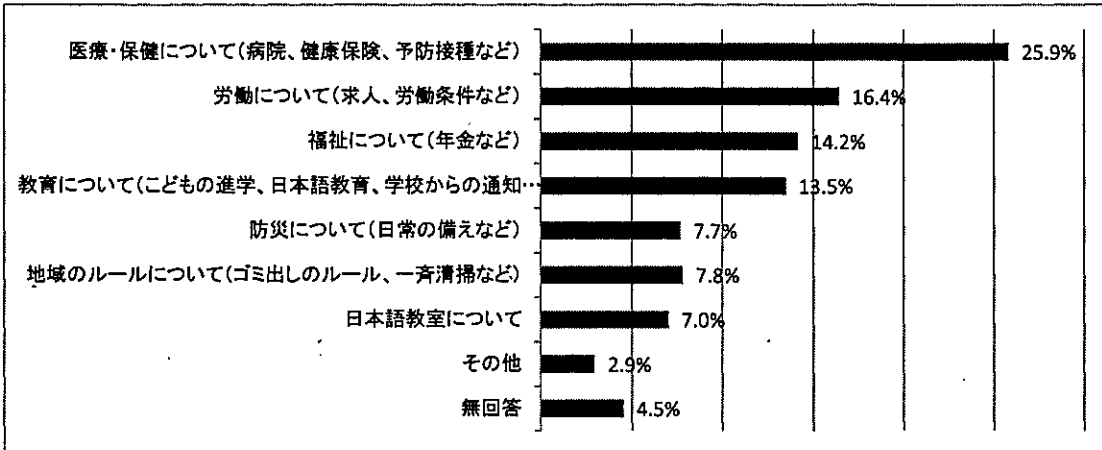


日本語を学んでいない理由については、「時間がないから」という回答が32.7%と最も多く、次いで、「すでに日本語でコミュニケーションがとれるから」という回答が22.6%と多い。

【情報】

Q19 日本で暮らしていく上で、必要な情報は何か。(3つに〇)

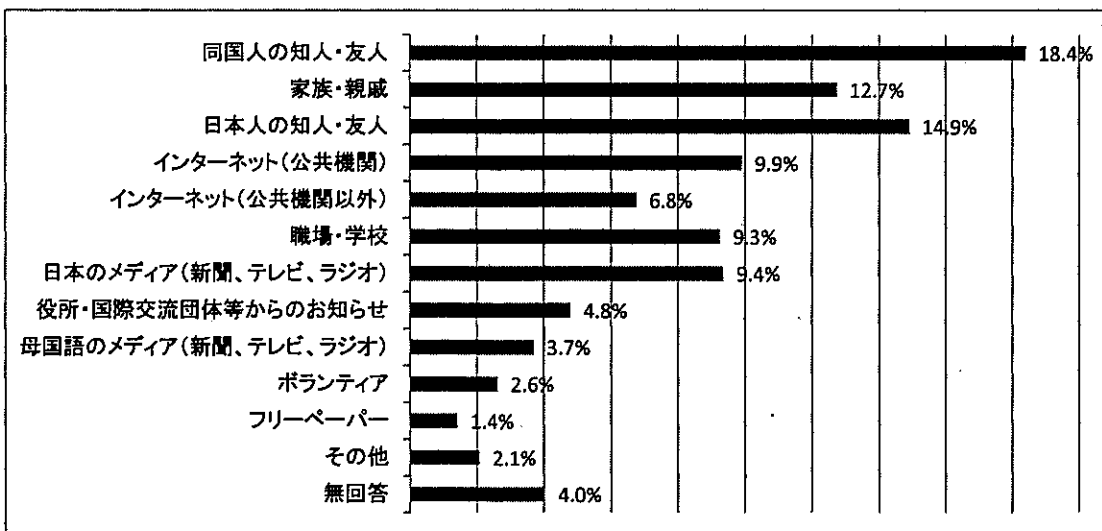
- ①医療・保健について(病院、健康保険、予防接種など)
- ②労働について(求人、労働条件など)
- ③福祉について(年金など)
- ④教育について(こどもの進学、日本語教育、学校からの通知など)
- ⑤防災について(日常の備えなど)
- ⑥地域のルールについて(ゴミ出しのルール、一斉清掃など)
- ⑦日本語教室について
- ⑧その他



必要な情報については、「医療・保健について(病院、健康保険、予防接種など)」という回答が25.9%で最も多く、次いで、「労働について(求人、労働条件など)」という回答が16.4%となっている。

Q20 必要な情報をどこから得ていますか。(3つに〇)

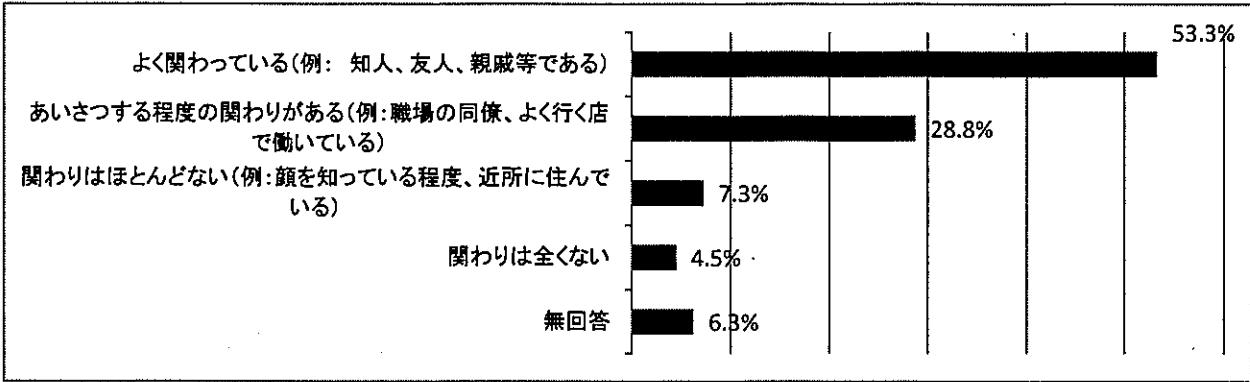
- ①同国人の知人・友人
- ②家族・親戚
- ③日本人の知人・友人
- ④インターネット(公共機関)
- ⑤インターネット(公共機関以外)
- ⑥職場・学校
- ⑦日本のメディア(新聞、テレビ、ラジオ)
- ⑧役所・国際交流団体等からのお知らせ
- ⑨母国語のメディア(新聞、テレビ、ラジオ)
- ⑩ボランティア
- ⑪フリーペーパー
- ⑫その他



必要な情報をどこから得ているかについては、「同国人の知人・友人」という回答が18.4%で最も多く、次いで「日本人の知人・友人」という回答が14.9%となっている。

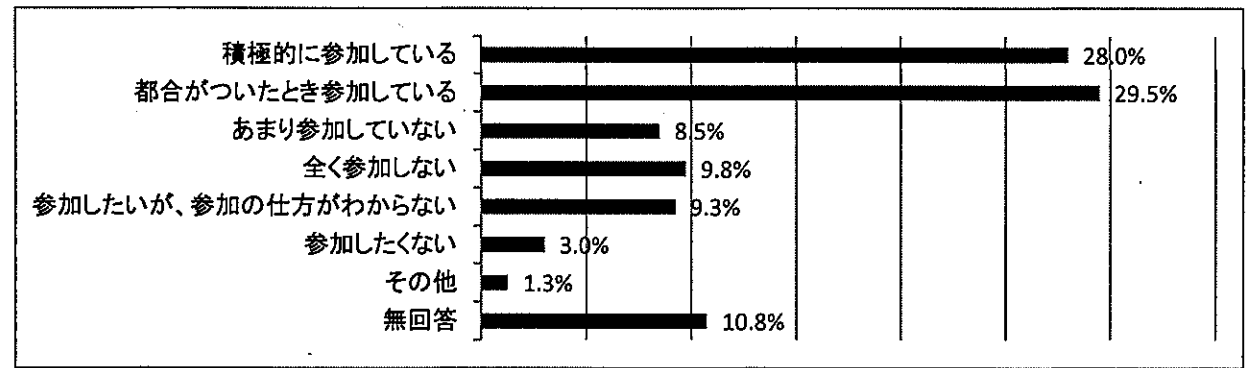
【日本人との関わり】

Q21 日常生活で日本人と関わるがありますか。(1つに○)
 ①よく関わっている(例: 知人、友人、親戚等である)
 ②あいさつする程度の関わりがある(例: 職場の同僚、よく行く店で働いている)
 ③関わりはほとんどない(例: 顔を知っている程度、近所に住んでいる)
 ④関わりは全くない



日常生活で日本人との関わりについては、「よく関わっている」という回答が53.3%で最も多く、次いで「あいさつする程度の関わりがある」という回答が28.8%となっている。

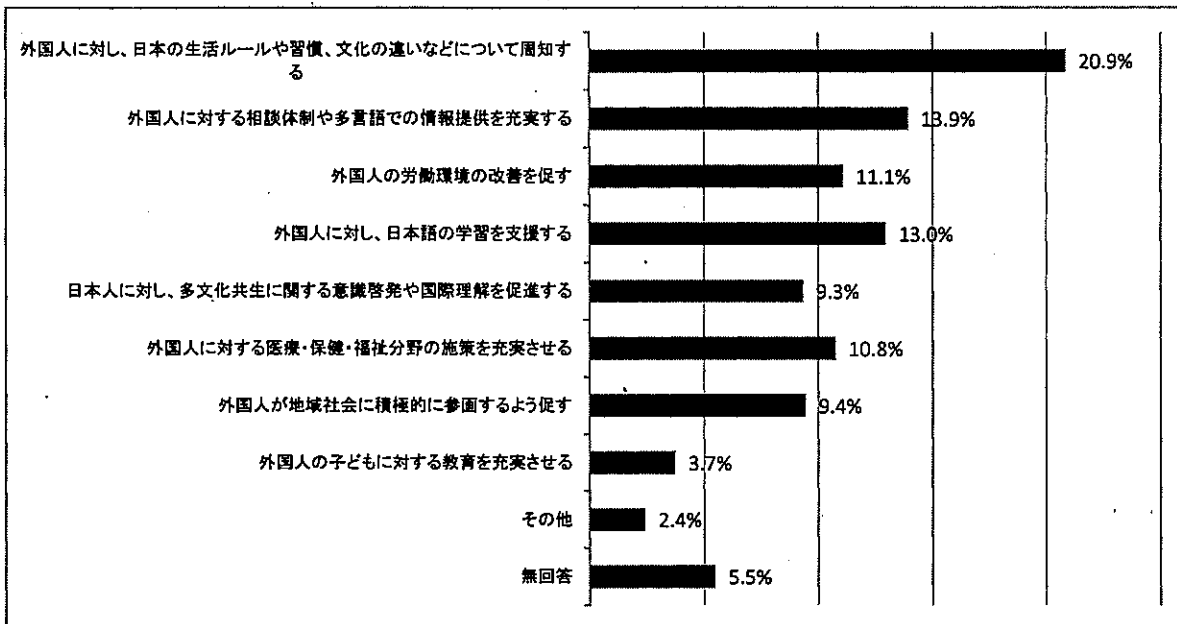
Q22 地域のお祭りや自治会、清掃活動などの地域活動に参加していますか。(1つに○)
 ①積極的に参加している
 ②都合が合ったとき参加している
 ③あまり参加していない
 ④全く参加しない
 ⑤参加したいが、参加の仕方がわからない
 ⑥参加したくない
 ⑦その他



地域活動への参加については、「都合が合ったとき参加している」という回答が29.5%で最も多く、次いで「積極的に参加している」という回答が28.0%となっている。

【行政施策】

- Q23 日本人とともに暮らしやすい社会にしていくため、行政の施策で特に必要と思われることは何ですか。（3つまで〇）
- ①外国人に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する
 - ②外国人に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する
 - ③外国人の労働環境の改善を促す
 - ④外国人に対し、日本語の学習を支援する
 - ⑤日本人に対し、多文化共生に関する意識啓発や国際理解を促進する
 - ⑥外国人に対する医療・保健・福祉分野の施策を充実させる
 - ⑦外国人が地域社会に積極的に参画するよう促す
 - ⑧外国人の子どもに対する教育を充実させる
 - ⑨その他



行政の施策で特に必要と思われることは、「外国人に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いについて周知する」という回答が20.9%で最も多く、次いで、「外国人に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する」という回答が13.9%となっている。